

英語英文学科 医療サポート英語プログラム (2023年度入学生用)

京都には多くの外国人が滞在し、海外から高度な医療を求めて来日する外国人の増加も見込まれている。このような中で、外国人が日本においても安心して医療を受けられ、また帰国後の療養へと繋げていけることは大変重要なことである。

このプログラムは、これまでの外国語教育に加えて、京都府立医科大学と共同して附属病院での実習も組入れた、外国人の医療支援に対応できる医療語学の専門性を有した人材育成を行う。本学科が取り組んできたホスピタリティを基盤に語学力のある高度な医療サポートスタッフの養成を目指している。

所定の単位（計20単位）を修得した者には英語英文学科より修了書を授与する。

			配当学年	単位	備考
主要科目	必修○	医療サポート英語Ⅰ	2・3・4	2	
		医療サポート英語Ⅱ	2・3・4	2	前提科目「医療サポート英語Ⅰ」
		身近な医学	1・2	2	
		臨床の医学・病院研修	2・3・4	2	前提科目「身近な医学」
選択必修 科目A	選択必修 6単位 以上	ホスピタリティ入門	1	2	
		ホスピタリティ論	1	2	
		旅行観光研究	2・3・4	2	集中（隔年開講1）
		ホテルビジネス研究	2・3・4	2	集中（隔年開講2）
		接遇のための日本語	2・3・4	1	
		異文化間コミュニケーション	2・3・4	2	
		International Communication and Acculturation	2・3・4	2	
		対人コミュニケーション	2・3・4	2	
選択必修 科目B	選択必修 6単位 以上	同時通訳入門	1	2	
		同時通訳法Ⅰ	2・3・4	2	
		同時通訳法Ⅱ	2・3・4	2	
		TOEICⅢ	2	2	
		おもてなしの英会話	2・3	1	
必修科目 8 単位 + 選択必修科目A 6 単位以上 + 選択必修科目B 6 単位以上 = 20 単位以上					

- 1) 主要科目 8 単位を必修とし、選択必修科目A・Bから各 6 単位を選択必修とし、総計20単位を修得すれば修了とする
- 2) 「医療サポート英語Ⅱ」のクラスはTOEICで選別する可能性がある
- 3) 臨床の医学・病院研修は、原則として、履修しようとする年度にプログラムを修了見込である者のみ履修可能
- 4) 「ホスピタリティ入門」「ホスピタリティ論Ⅰ」は、いずれか 1 科目のみ適用する
- 5) キャリアセンター提供の医療事務講座（有料）を履修することを勧める